
君はいま...

溝部 央

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君はいま…

【Nコード】

N3489E

【作者名】

溝部 央

【あらすじ】

家族に捨てられた主人公の初希は風に誘われるようにトンネルの中へ入っていった。一体トンネルの向こう側はどうなっているのか？初希の踏み出した小さな一歩が運命を変えてゆく…。

トンネル

- 親父に捨てられた。

全ては、この重い運命の下で、静かに…でも確実に、動き出そうと
していた。

俺は今年から高1になる渡瀬 初希。この女みたいな名前は、親父
が女の子が欲しかったからと云う理由で付けたらしい。はつきり言
って、俺は家族にとって、かなり邪魔な存在で、会話も全然してな
い。なのに今日、珍しく親父が、

「ドライブでも行こうか。」って、話しかけてきた。

「はあ？意味わかんねえ。」とか言っただけなのに、実はか
なり嬉しかったんだ。

車に乗るのは、すげえ久しぶりで、無言だったけど、楽しかった。
降ろされた場所も、桜が満開で、その綺麗さに感動した。今日は、
幸せだと思った。

なのに…俺が寝てる間に親父は、どこかに行ってしまった。車も
無い。直感で、捨てられたんだと思った。周りは静かで、なんだか
不気味だ。

目の前には大きなトンネルが、口を開けて風を吸い込んでいた。そ
の風に背中を押されているような感覚に俺は怖くなった。だけど、
ここから逃げても、結局行くところなんてない。…それなら。俺は

拳を握りしめて、トンネルの中に一步を踏み出した……。

トンネル（後書き）

サボりっぱいので…。完結できるか不安ですが、皆様に読んで頂くために、精一杯頑張らせて頂きます！

おっさん登場

トンネルはとても短くて、俺の目には青空が映った。ただ少し、なにかが俺の知っている世界と違った。

「そこで何をしておる！」いきなり肩を乱暴に掴まれ、俺の体は情けないことに、しりもちをついて倒れてしまった。

「いつてえー…。なにしゃがる!!」

俺は、起き上がる反動で掴みかかろうとした。だけど、やめた。…なんでつて？だって、この男、普通じゃねえんだもん。俺の知る限り、着物きて、腰に刀さしてるような奴、江戸時代に消滅したはず…。…なぜここにいる。

「何をしていると聞いたんだ。答えろ、流れ者」威勢がいいおっさんだ。こういう場合、だいたい逃げるが勝ちって言うけど、おっさん刀持つてるし、逃げたら殺されるよなあ…。

「…トンネルくぐったら、ここに着いちまったんだよ。」

正直に言ってみた。すると、おっさんはニカツと笑って、

「お前もか。…俺も流れ者なんだよ。昭和から江戸に…。」
と言った。ちよつと待て！昭和つて…結構昔じゃん!!…なんで…このおっさんまだ若いんだよ。

「俺の年が気になるか？多分、流されたのが28のときだから、今は100超えてるはずだがな」

「じゃあ、なんでそんなに若えんだよ！おかしいだろ!？」

「ああ。おかしい。こっちに来てから全く年をとらん」
そんな…。俺はずっと大人になりたかった。でも、ここじゃあそんな些細な望みも叶わねえのかよ。

「…おい。隠れるぞ…」

「は?…うわッ!？」

おっさんがいきなり俺の手を引つ張って抱き寄せた。

「なっ…なにすんだよ!離せホモ!」

そんな俺の口は大きい手で塞がれる。

「静かにしろ。殺されてえのか……」

一体なにが起こってんだよ……。俺はただ、おっさんの腕の中で静かにすることしかできなかった……。……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3489e/>

君はいま...

2011年1月30日15時27分発行